

# 平成 29 年度 9月号 あゆみ

〒651-2273 神戸市西区糞台 3-32-7  
 社会福祉法人 愛児会  
 幼保連携型認定こども園  
 あゆみ 幼児園  
 TEL (078)991-3100/(078)996-1700  
 FAX (078)992-6000  
 URL <http://www2.ayumi.or.jp/~ayumi/>

保育理念 子どもの今と未来をつなぐ  
 保育方針 [ 受容と尊重 ] [ 自己の発揮 ]  
 [ 思いやり ] [ 支え合い、感謝する ]

地球温暖化の影響か、年々猛暑日が多くなっています。この夏は冷房による適度な涼しさでの活動やこまめな水分摂取、シャワー、休息など、熱中症予防に心掛けながらの園生活となりました。

又、7 月後半からは、園児の祖父母の方に中庭やフェンス沿いの樹木の水やりをお願いし、時間をかけての丁寧なお仕事ぶりに頭が下がる思いと共に、職員がそれに要していた時間を保育配置体制へのゆとりとなっておりますこと、本当に感謝しております。まだ当分の間お力添え下さいますよう、よろしくお願い致します。

さて、それでも 9 月の声を聞きますと、暑さも少しずつ和らぎ、秋風を感じながらいつものように元気よく園庭を駆け回って遊べるようになることにホッとしています。

いよいよ 2 学期が近づくと、どこの園でも同じことかと思いますが、ここあゆみ幼児園へも、入園希望や就労、里帰り出産、通院、育児から少し解放されたい等、一時保育での見学、来園依頼を毎日のように受けております。

その事例を少し紹介させていただきますと、

- ・初めて園に連れて来られ、お母さんから離されるのかと不安な表情だったので「ずっとお母さんと一緒にいるよ」「こっちへおいでと言わないから安心してね」と声をかけると、ホッとした表情を見せてくれたお子さん。
- ・3 歳児からの入園をご希望で、幼稚園か認定こども園か保育園かを迷われており、幼稚園の一斉教育に我が子がついていけそうにないので、一人ひとりを見てくれる園が我が子に良さそうなので来園されたお母さん。
- ・座ってお話が出来ない程、片時もじっとしていらぬお子さんの動きを目に入れないながらの立ち話になるケース。
- ・児童館に連れて行くが、周りの輪に誘われると嫌がり、泣いて怒る我が子の姿に「どうしてうちの子だけ…、自分の育て方が悪いのだろうか」と悩まれ辛い気持ちを話されるお母さんと、子育て相談へと話が広がることもしばしばです。

いろいろな親子さんと接しこちらが教えられることが多い日常の中で思いますことに、子育てをしていると「なぜ自分の思い描いていたように育ってくれないのか」と悩むことは誰にでもあるものです。時には困らせる姿に苛立ち、大きな声で怒鳴ってしまうことや、すぐに苛立つ自分に自己嫌悪になることもあるかもしれません。程度の差こそあれ、子育てをする多くの親が通る道だと思います。特に子どもに「育てにくさ」を感じる場合やイヤイヤ期の子どもの親にとって、辛い時期が長く続くことがあり、疲れ果てている方も少なくありません。それでも、片時もじっとしてられない子のお母さんは「こっちの方が良い？」と、その子の思いに添おうと声を掛けていらっしや、「うまくいかないことも多いでしょうが、そのように応じていることが、今は大変だけれども長い目で見た時にその子にとっても大切なことではないか」とお伝えしました。

小児科医の佐々木正美さんは、「手のかからない子が良い子だなんてそんなのは大間違いですよ。人生のどこかで親は我が子にたっぷり手をかける必要があるんです。小さい頃に手をかけさせてくれる子が本当はとても良い子なんです」と乳幼児期は手が掛かって当然だと言われています。確かに「手が掛かる」ということは、親からたくさん手を掛けてもらっているということでもあります。

このように様々な出会いがある中、開園当初に入園され、今は立派な父親になられ、実家のお母さん、奥様、お子さんの4人と30年振りにお逢いできたり、数年ぶりに来園され、卒園後の変化やご苦労を乗り越えられての今を、大切な乳幼児期があゆみであったからこそその喜びを聞かせて下さったり等々、西神の地でずっと変わらぬあゆみの保育を繋げていくことの重みを改めて心に留める数々の嬉しい出来事がありました。

そして又、中学 2 年生だった 4 年前に「お世話になったあゆみの先生たちに少しでもご恩返しをしたい」との思いを動機に記してトライやるウィークに参加してくれた卒園児が、この夏、晴れの甲子園出場を果たし、準決勝戦では見事にホームランを放つ活躍をしました。翌日には惜しくも相手チームの強打を打ち崩せず準優勝となりましたが、新聞でのコメントに「憧れの舞台で憧れのユニホームを長く着れて最高の夏、でも悔しさの残る夏でもあった」と記されてありました。卒園後の小・中学生の頃からいつ出会うともキリッと背筋を伸ばし、帽子を取ってにこやかに挨拶を交わしてくれていた彼。幼い頃からの夢を叶える為にコツコツと努力を重ね、親元を離れた高校時代に培った力は人としてのこれからの大きな 財産になるであろうと、私たち職員にとっても大変嬉しい夏のニュースとなりました。多くの親子さんと出会う度、前途ある人間形成の根っここの部分である乳幼児期の子どもたちを預かる責任の重さを感じつつ、次代を担う子どもたちの成長を楽しみのうちにずっと見守っていきたくと思います。

園長 井塚 栄子

## 9 月の行事

日 曜	教育活動、行事	
1 金		
2 土		
4 月	合同礼拝	
5 火	ひまわり遠足<グリコピア神戸>	
6 水		
7 木	ちやいるどすてっぷ教室 (4, 5歳児) 園内農家体験(5歳児)	
8 金	敬老のつどい(9:30~11:00)	
9 土		
11 月	避難・消火訓練 <不審者、火災> あゆみクラブとの交流(4歳児)	
12 火	幼児体育遊び	W
13 水	ちやいるどすてっぷ教室 (4, 5歳児)	
14 木	幼児遠足の日	
15 金	9月生まれの誕生会	
16 土		
18 月	休園(敬老の日)	
19 火	合同礼拝	W
20 水	糞台デイサービスの 皆さんとの交流 (4, 5歳児)	
21 木	幼児体育遊び	
22 金		
23 土	休園(秋分の日)	
25 月		
26 火		W
27 水		
28 木	園内農家体験(4, 5歳児)	
29 金		
30 土		

## 【9月の讃美歌】

♪あかるい朝

1. あかるいあさを かんしゃして  
みんなであうたおう ハレルヤと
2. こずえのとりも ののはなも  
かみさまほめて ハレルヤと



## 【9月の歌】

♪まつぼっくり

まつぼっくりが あったとき  
たかいおやまに あったとき  
ころころころころ あったとき  
おさるがひろって たべたとき

